



2026年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年5月14日

上場会社名 株式会社東京ソワール

上場取引所

東

コード番号 8040

URL <https://www.soir.co.jp>

代表者(役職名) 代表取締役社長

(氏名) 小泉 純一

問合せ先責任者(役職名) 取締役上席執行役員経営企画本部長 (氏名) 大島 和俊 (TEL) 03-6372-6712

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年12月期第1四半期の連結業績(2026年1月1日～2026年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第1四半期	4,763	△7.0	411	△26.0	426	△25.4	355	△27.9
2025年12月期第1四半期	5,124	—	556	—	571	—	492	—

(注) 包括利益 2026年12月期第1四半期 405百万円(△10.3%) 2025年12月期第1四半期 451百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第1四半期	102.72	—
2025年12月期第1四半期	143.16	—

(注) 当社は、2024年12月期第2四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2025年12月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第1四半期	14,484	10,737	74.1
2025年12月期	13,934	10,488	75.3

(参考) 自己資本 2026年12月期第1四半期 10,737百万円 2025年12月期 10,488百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	—	0.00	—	45.00	45.00
2026年12月期	—	—	—	—	—
2026年12月期(予想)	—	0.00	—	45.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年12月期の連結業績予想(2026年1月1日～2026年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,650	0.8	380	2.9	440	△1.4	360	△11.1	104.25
通期	16,200	0.5	350	101.3	450	52.2	350	48.0	101.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) ー、除外 一社(社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年12月期 1 Q	3,860,000株	2025年12月期	3,860,000株
2026年12月期 1 Q	399,122株	2025年12月期	400,096株
2026年12月期 1 Q	3,460,246株	2025年12月期 1 Q	3,442,128株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

(注) 株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が保有する自社の株式は、1株当たり当期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 9
(セグメント情報等の注記)	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 9
(継続企業の前提に関する注記)	P. 9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2026年1月1日～2026年3月31日)における日本経済は、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調が続いたものの、不安定な海外情勢の長期化や資源価格の高止まりなどもあり、先行き不透明な状況が続いております。

当アパレル業界におきましては、原材料及びエネルギー価格の高騰、度重なる物価上昇に加え、気候変動の影響により商品構成や投入時期などの見極めが難しい環境にあります。さらに、消費者の購買行動においても、実質賃金の伸び悩みを背景とした生活防衛意識の高まりによる節約志向や低価格志向が強まっており、今後の事業環境への影響が依然として懸念されます。

このような経営環境の中、当社グループは2027年を最終年度とする中期経営計画において、「ウェルビーイングな商品・購入体験の拡充」の実現に向けて、「事業領域の拡大」、「事業基盤の整備」、「効率化の追求」に取り組んでおります。

中間年度となる2026年度は、「成長加速フェーズ」と位置づけ、フォーマル事業では、ルールやマナーなどの情報やサービスを含む「フォーマルライフ」マーケットへの価値提供を通じて顧客体験を高め、安定的な収益を生み出す基盤へと進化させてまいります。ライフスタイル事業では、株式会社キャナルジーンを成長ドライバーと位置づけ、収益性の向上と規模の拡充を進めてまいります。また、業務提携やM&Aを通じた外部知見の取り込みを柔軟に活用し、成長に向けた戦略の幅を広げてまいります。

こうした状況下における当第1四半期連結累計期間の売上高は47億63百万円(前年同期比7.0%減)、営業利益は4億11百万円(同26.0%減)、経常利益は4億26百万円(同25.4%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億55百万円(同27.9%減)となりました。

セグメント別の経営成績の概要は次のとおりです。

<フォーマル事業>

フォーマル事業では、2025年秋より冠婚葬祭の多様化に対応した新たなフォーマルのスタンダードを再定義する新ブランド「TOKYO SOIR(トウキョウソワール)」を全販路で展開し、ブランド価値の向上と販売拡大を進めております。

当事業では、フォーマル領域における商品・サービスの提供を中心に、卸売、小売(直営店・EC)及びレンタルの各事業を展開しております。

卸売事業におきましては、新たなお客様の開拓と「フォーマルライフ」マーケットの拡張に向けて、従来とは異なるカテゴリーの商品提案と魅力的な売場づくりやサービスの提供を行っております。あわせて、取引条件交渉や不採算店舗からの撤退、在庫回転率の向上など、事業運営の効率化を継続的に推進しております。

小売事業におきましては、直営店「フォルムフォルマ」では、オリジナル商品の拡充と新規出店を進めております。ECでは、マーケティングツールの活用や広告運用の最適化により、堅調に売上を伸ばしていることに加え、EC限定のオリジナルブランドやコラボ企画の展開により、新たな顧客層の取り込みに注力しております。「kuros'」では、各種プロモーションによる認知度向上やECサイトのサービスを拡充し、ホテルや飲食店などの法人向け提案を強化することで売上の拡大を進めております。

レンタル事業におきましては、マーケティング施策の強化やECサイトの改修により堅調に売上を伸ばしており、更なる拡大に向けて、3月末に名古屋へ新規出店いたしました。

フォーマル事業における売上高は42億14百万円(前年同期比8.9%減)、営業利益は3億45百万円(同31.2%減)となりました。

<ライフスタイル事業>

ライフスタイル事業では、カジュアル領域におけるブランド展開を中心に、EC及びリアル店舗を通じて事業を展開しております。

当事業では、「CANAL JEAN」を展開する株式会社キャナルジーンにおいて、レディースファッションを軸として、SNSでの積極的な発信により幅広い世代からの支持を獲得しております。

ECにおいて、天候や気候の変動に敏感な顧客によるシーズン商品の買い控えなどの影響が一部に出たものの、リアル店舗を中心に全体としては堅調に推移しております。今後は、更なる成長に向けて厳選した地域への新規出店を進めてまいります。

ライフスタイル事業における売上高は5億49百万円(前年同期比9.8%増)、営業利益は66百万円(同8.0%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は144億84百万円となり、前連結会計年度末に比べて5億50百万円増加いたしました。これは主に、仕掛品の減少64百万円があったものの、売掛金及び契約資産の増加5億28百万円や商品及び製品の増加1億94百万円によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における負債は、37億47百万円となり、前連結会計年度末に比べて3億2百万円増加いたしました。これは主に、長期借入金の減少10百万円があったものの、支払手形及び買掛金の増加1億43百万円や電子記録債務の増加71百万円によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、107億37百万円となり、前連結会計年度末に比べて2億48百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金の増加1億97百万円やその他有価証券評価差額金の増加57百万円によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて、24百万円減少し20億33百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は1億19百万円（前年同期は5億67百万円の収入）となりました。これは主に、売上債権の増加5億29百万円があったものの、税金等調整前四半期純利益4億39百万円や仕入債務の増加2億14百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果得られた資金は31百万円（前年同期は77百万円の収入）となりました。これは主に、敷金及び保証金の差入による支出13百万円があったものの、投資有価証券売却による収入41百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は1億75百万円（前年同期は1億89百万円の支出）となりました。これは主に、配当金の支払1億50百万円やリース債務の返済による支出14百万円によるものであります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,058,553	2,033,932
売掛金及び契約資産	1,395,820	1,924,401
電子記録債権	4,066	4,898
商品及び製品	4,229,111	4,423,912
仕掛品	349,050	285,000
原材料	1,413	1,637
その他	276,836	174,229
貸倒引当金	△517	—
流動資産合計	8,314,335	8,848,012
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,656,362	1,656,362
その他（純額）	691,378	691,923
有形固定資産合計	2,347,740	2,348,285
無形固定資産		
のれん	373,559	359,191
その他	48,230	18,123
無形固定資産合計	421,789	377,314
投資その他の資産		
投資有価証券	1,673,794	1,729,706
賃貸不動産（純額）	763,453	755,735
繰延税金資産	6,516	8,012
その他	409,096	420,338
貸倒引当金	△2,441	△2,406
投資その他の資産合計	2,850,418	2,911,386
固定資産合計	5,619,948	5,636,987
資産合計	13,934,283	14,484,999
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	332,563	476,408
電子記録債務	1,064,284	1,135,308
契約負債	108,557	116,539
1年内返済予定の長期借入金	43,840	43,840
未払法人税等	102,148	122,180
その他	733,208	794,925
流動負債合計	2,384,601	2,689,201
固定負債		
長期借入金	543,440	532,800
退職給付に係る負債	111,587	105,470
資産除去債務	205,172	214,138
繰延税金負債	111,356	123,399
その他	89,393	82,846
固定負債合計	1,060,950	1,058,656
負債合計	3,445,551	3,747,857

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,049,077	4,049,077
資本剰余金	3,732,777	3,732,819
利益剰余金	2,251,619	2,449,485
自己株式	△522,483	△521,590
株主資本合計	9,510,991	9,709,792
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	739,067	796,459
退職給付に係る調整累計額	238,673	230,889
その他の包括利益累計額合計	977,741	1,027,349
純資産合計	10,488,732	10,737,141
負債純資産合計	13,934,283	14,484,999

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
売上高	5,124,602	4,763,508
売上原価	2,444,033	2,200,332
売上総利益	2,680,569	2,563,175
販売費及び一般管理費	2,124,079	2,151,238
営業利益	556,489	411,937
営業外収益		
受取利息	13	3
受取配当金	1,066	700
受取賃貸料	25,685	25,663
その他	2,931	3,178
営業外収益合計	29,696	29,544
営業外費用		
支払利息	2,440	2,111
賃貸費用	10,691	11,256
その他	1,326	1,815
営業外費用合計	14,459	15,183
経常利益	571,727	426,298
特別利益		
投資有価証券売却益	38,173	13,150
特別利益合計	38,173	13,150
税金等調整前四半期純利益	609,900	439,448
法人税、住民税及び事業税	124,623	96,304
法人税等調整額	△7,501	△12,290
法人税等合計	117,121	84,014
四半期純利益	492,779	355,433
親会社株主に帰属する四半期純利益	492,779	355,433

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
四半期純利益	492,779	355,433
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△34,882	57,392
退職給付に係る調整額	△6,249	△7,784
その他の包括利益合計	△41,131	49,608
四半期包括利益	451,647	405,042
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	451,647	405,042

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	609,900	439,448
減価償却費	70,725	76,313
のれん償却額	14,367	14,367
受取利息及び受取配当金	△1,079	△703
支払利息	2,440	2,111
投資有価証券売却損益 (△は益)	△38,173	△13,150
契約負債の増減額 (△は減少)	△17,743	7,982
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	204	△552
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△8,643	△6,116
売上債権の増減額 (△は増加)	△523,255	△529,413
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△47,823	△130,974
前払費用の増減額 (△は増加)	49,314	45,420
仕入債務の増減額 (△は減少)	516,807	214,868
未払金の増減額 (△は減少)	△110,831	△112,335
未払又は未収消費税等の増減額	11,715	62,827
その他	79,564	108,184
小計	607,490	178,279
利息及び配当金の受取額	1,079	703
利息の支払額	△2,466	△2,136
法人税等の支払額	△39,003	△57,831
営業活動によるキャッシュ・フロー	567,099	119,014
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△27,397	—
投資有価証券の売却による収入	106,036	41,050
有形固定資産の取得による支出	△2,488	△3,795
資産除去債務の履行による支出	△320	△7,429
貸付けによる支出	—	△548
貸付金の回収による収入	1,800	1,768
敷金及び保証金の差入による支出	—	△13,370
敷金及び保証金の回収による収入	—	14,283
その他	30	30
投資活動によるキャッシュ・フロー	77,659	31,987
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△10,960	△10,640
配当金の支払額	△148,920	△150,624
自己株式の取得による支出	△149	△28
リース債務の返済による支出	△29,762	△14,329
財務活動によるキャッシュ・フロー	△189,792	△175,622
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	454,966	△24,620
現金及び現金同等物の期首残高	1,862,030	2,058,553
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,316,997	2,033,932

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)

報告セグメントごとの売上高、利益の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	フォーマル事業	ライフスタイル 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,624,392	500,210	5,124,602	—	5,124,602
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,624,392	500,210	5,124,602	—	5,124,602
セグメント利益	495,167	61,321	556,489	—	556,489

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第1四半期連結累計期間(自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)

報告セグメントごとの売上高、利益の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	フォーマル事業	ライフスタイル 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,214,138	549,370	4,763,508	—	4,763,508
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,214,138	549,370	4,763,508	—	4,763,508
セグメント利益	345,712	66,225	411,937	—	411,937

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。